

【令和4年第1回定例会議長あいさつ】

3月に入り、いよいよ桜の開花が気になる季節となりました。昨日の新聞では、大法師公園桜の開花予想を3月27日と発表されましたが、暖かい春が待ち遠しく思います。

さて、1月16日に望月新町長が就任しました。昨年末に起きた官製談合事件で、町が失った信頼回復に向けた新たな町政への取り組みは、町民のみならず、各方面から注目されています。新たな町政運営が、より良いまちづくりの推進につながっていくことを、大いに期待するとともに、より良い施策に向け、議会も一丸となって取り組んでいかなければならないと考えております。

このような中、新型コロナウイルス感染症に関しては、令和2年1月に、国内で初めて感染者が確認されてから、2年以上が経過しました。新たな変異株、オミクロン株による感染拡大の勢いも衰えることなく、依然として猛威を振るい続けており、私たちの日常も大きく変わり、新しい生活様式が定着しつつあるのが現状であります。

現在は、感染症対策に最も有効とされる、3回目のワクチン接種が順調に始まっています。収束に向けての期待が高まる一方、まだまだ解決しなければならない課題も多いのが現状であります。それぞれの対策を講じながら、春の訪れを待つように、一刻も早く収束することを待ち望んでいます。

また、近年は異常気象が続く中、昨年8月にも西日本と東日本で、大雨による甚大な被害が発生しております。

東日本大震災から間もなく11年を迎える中、今後起こりうる災害

に備え、それぞれの役割、自身の命を守るべき行動を考え、防災に対する意識をさらに高めながら、町民が安心安全に暮らせる災害に強いまちづくりも構築していかなければならないと考えております。

さて、世界情勢に目を向けますと、今年度は夏に東京オリンピック、2月に北京オリンピックが開催されました。コロナ禍において、さまざまな試練と向き合い、たゆまぬ努力を重ねてきたアスリートの輝かしい姿は、多くの人たちに勇気と感動を与えてくれました。

しかし、この平和の祭典が閉幕したころ、片方ではウクライナ情勢が悪化し、戦争が起きていることも現実です。世界で起きている状況も受け止めながら、平和な社会を目指すため、私たちにできる、さまざまなことに取り組んでいく必要があると感じております。

町に目を向けますと、大法師公園のさくら祭りは、今年も規模を縮小し、しっかりとした感染症対策を講じながら、3月26日から開催することとなりました。

「日本さくら名所100選」の美しい桜を見て、前向きな気持ちを持って、少しでも心豊かになっていただけたらと思っております。

その桜が咲くころには、町議会議員一般選挙が執行されます。今定例会は、現議員の4年間の締めくくり、最後の定例会となります。自治体の果たす役割はますます大きくなる中、2元代表制の一翼を担う議会に課せられた責務も、大変重要であります。これまで以上に気を引き締め、議決機関としての役割と責任の重さを自覚し、子どもたちの未来のため、町民のために、慎重かつ丁寧な審議を行ってまいりたいと考えております。

今定例会でも、感染症対策のため、傍聴席を13席に制限させて

いただいております。

なお、一般質問の日には、1階会議室においてテレビモニターを設置しますので、傍聴席に入れない皆さまに、ご利用いただきたいと考えております。

今定例会は、令和4年度予算、条例制定、条例改正などについて、審議をお願いすることになります。

議員各位におかれましては、健康に十分ご留意され、活発な議論をお願い申し上げ、あいさついたします。